こどもの笑顔が、街の未来。

子育て世帯への負担を軽減！　**保育園、幼稚園の給食費無償化に取り組む！**



無償化　保育園　幼稚園

現無償　小学校　中学校



こどもが集う街へ

妊娠、出産、母子保育、保健指導、保育、教育、子育て相談の窓口を1本化へ動きます。

子育ての相談をワンストップ化

母子保育と児童福祉を一本化。妊産婦、子育て家庭、子供に対しての窓口をワンストップ化できるように動きます。

住み慣れたこの街で、安心して暮らせる北茨城市へ

1. 地域医療の維持・強化

北茨城市民病院への医師派遣要請を強化し、家庭医療センターでの筑波大学等連携との関係を拡充へ動きます。

2. 高齢者福祉の充実

地域包括支援センターの機能強化と相談窓口のワンストップ化。

海がつなぐ、まちがつなぐ。常磐3市がつながる！



常磐シーサイドサイクルライン（仮称）に動きます！

常磐3市で協議をし、海沿いを走るサイクリングコースの構築に動きます。海岸線ルートとヒルクライムルートの2つを他自治体へつなげ、その中間点として位置する北茨城市の滞在動機をあげることで、宿泊、飲食、美術館をはじめとする歴史観光につなげ周遊観光地として機能させます。

豊田しげる後援会

〒319-1725
茨城県北茨城市関本町富士ヶ丘481
0293-43-5851

政治家ページ　Youtube　Instagram　Facebook　TikTok　HP

豊田 しげる

とよだ



現場に立つ。未来を拓く。

一人ひとりの声を、確かな北茨城の明日へ。

北茨城の未来を、暮らしの安心と希望に。県議2期の経験を、市民のための市政へ。私はこれまで、茨城県議会議員として2期、北茨城市と県北地域の発展に取り組んでまいりました。産業、観光、農林水産業の振興をはじめ、子育て、福祉、医療、防災、道路など、市民の暮らしに直結する課題と向き合ってきました。県議として培った国や県との連携、行政や各種団体とのネットワークを生かし、市民の声を市政に届け、必要な支援と事業を着実に実現してまいります。だからこそ、初心を忘れず、市民の声を丁寧に伺い、地域ごとの課題に真摯に向き合います。受け継ぐ。改める。ともにつくる。未来につなぐべきものは大切に受け継ぎ、時代や暮らしの変化に合わないものは、勇気を持って見直します。子育て・教育、医療・福祉、防災、産業・観光の振興に重点を置き、働く場をつくり、安心して子どもを育て、高齢になっても住み慣れた地域で暮らせる北茨城を目指します。市民の皆様との対話を重ね、「北茨城に住んでよかった」と思えるまちを、ともにつくってまいります。「報恩感謝」の心を胸に、これまで支えてくださった皆様への感謝を行動に変え、北茨城の未来を切り拓いてまいります。

豊田 茂

プロフィール

- 昭和46年4月生55歳
- 北茨城市立富士ヶ丘小学校卒業
- 茨城中・茨城高校卒業
- （株）北茨城自動車学校 監査役
- （株）茨城県北自動車学校 監査役
- 学校法人翔洋学園 評議員
- 自由民主党北茨城支部 支部長
- 前茨城県議会議員
- 保健福祉医療委員会 委員長
- 営業戦略農林水産委員会 副委員長
- 総務企画委員会 副委員長
- 土木企業立地推進委員会 副委員長
- 予算特別委員会 委員
- 議会運営委員会 副委員長
- 自由民主党茨城県連組織本部副本部長
- 自由民主党茨城県連地域総局長

対話が絶えない街づくり
常磐3市、周辺自治体と
広域連携。

各地域へ出向き、市民の皆様と対話をします。徹底した現場主義と透明性のある市政運営。

県議2期の経験で、県との対話

わかりやすい情報発信

市民と協力し、稼ぐ自治体へ



茨城県議2期の実績だからできる、わかる。北茨城の未来の課題。

人口減少でも、暮らしの質と地域の力が落ちない街へ！

地域の移動手段を作り直す！
慣れた地域の生活を守る！

免許返納などで、車を運転できなくなっても暮らせる北茨城を目指します！

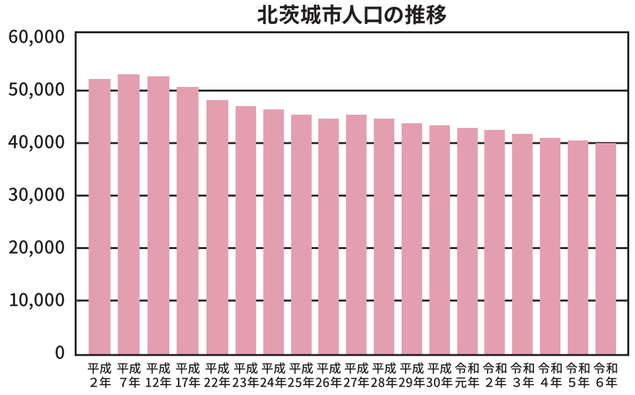
スクールバス+福祉輸送+医療機関送迎車+自家用有償旅客運送を用いて、山間部や交通空白地域など組み合わせで市民の移動を守ります。



未来を見据えた街づくり
北茨城市の将来を考える！

県北6市町の中では1番低い減少率。
子育て、福祉、医療を中心に
「住み続けられる街」で
あるようにさまざまな取り組みを継続します。

北茨城市人口の推移



促進 ふるさと納税を見直す！地元のものを、地元の未来のために！

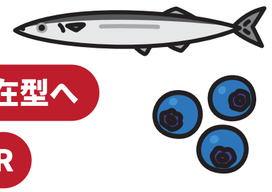
トップセールス+商工会と連携し、北茨城の自然の恵みを全国へ！

海と山の自然の宝庫である北茨城市は、ふるさと納税寄付額は、県内37位と下位に位置しております。自らトップセールスすることはもちろんですが、商工会と連携し、税収獲得のため、積極的に取り組みます。

①商工会との連携

②体験型と組み合わせで滞在型へ

③トップセールスで全国にPR



返礼品登録方法の周知に動く！

生産者や、企業に随時説明会を実施

ふるさと納税の制度を含む、登録手順や、出品する際のルールなど、市内の事業者様が少しでも多く出品していただけるように説明会や問い合わせ窓口の周知を実施します。



海

1. 水産業を守り、育てる

まき網漁やしらす漁で培われてきた漁業の伝統を次世代へつなぎます。あんこうサミットを通じた販路拡大にも力を入れ、「獲る漁業」から「稼げる漁業」への転換を支援します。

2. 港を観光の核に

あんこう鍋発祥の地として知られる本市の魅力を、港とともに発信します。漁業歴史資料館「よう・そろー」を拠点に、漁業体験や地魚グルメを楽しめる観光地づくりを進め、温泉旅館とも連携した「泊まって、食べて、体験できる港町」を実現します。

山

花園林道整備を継続

1. 「北茨城市の豊かな森林を次の世代へ引き継ぐため、森林整備計画に基づき、適切な間伐や路網整備を進め、災害に強く、林業が活きるまちづくりを推進します。

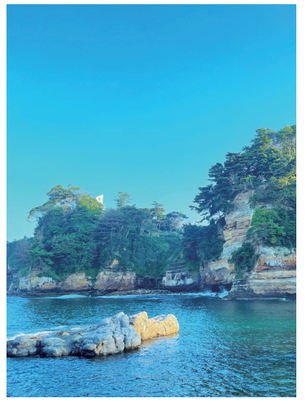
2. 農業支援

①農地の集約・維持　②機械・施設導入の補助
③新規就農者支援　④鳥獣被害対策

の4つの柱を、国と県、市独自の政策を農業の課題と実情合わせて進めていきます。

未来を考えた、北茨城市の街づくり

人口減少、少子化問題は諦めない！



ゼロカーボンシティを目指す

新電力・再エネルギーの推進で2050年カーボンニュートラルを実現する！

新電力・再生可能エネルギーを推進。森林保全などあらゆる取り組みに動きます。また新電力の活用で、エネルギーの地産地消を目指します。さらには、企業、雇用を生み出すことで地域経済の持続的な活性化や、Uターン・Iターンするきっかけ作りとなります。

住みたい街へ 関東で一番涼しい街！

関東で一番涼しい街をブランド化！

北茨城市の“涼しさ”は、他のまちにはない資産です。この資産を観光・移住・産業・防災という複数の切り口から育てていくことで、北茨城市を「関東の新しい避暑地」として確立し、まちの持続的な発展につなげます。

見る観光から滞在型へ

市内周遊観光、周辺自治体と協力した、周遊観光に動きます。

観光スポットのPRに動き、六角堂、花園渓谷、大津漁港、五浦海岸など、常磐線と、バスを接続させ、さらには、宿泊施設と協力し、通るだけではなく、泊まる観光地へ動きます。

